

令和5年度 事業報告書

1 東三河スタートアップ推進協議会の目的

東三河地域において、スタートアップ支援に係る様々な活動を行っている事業会社、大学、行政機関等により構成される東三河スタートアップ推進協議会は、地域発のスタートアップの創出と、地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成を目的とする。

2 令和5年度の目標

地域発のスタートアップの創出と、地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成に向け、本年度は次の3つの目標を立て、各会員や支援機関はもとより、愛知県や「PRE-STATION Ai」とも連携し、また、地域の事業会社や金融機関等を巻き込みながら東三河で一体となって事業を実施した。

- (1) 東三河地域のスタートアップ・エコシステムの拡充
- (2) スタートアップ支援の強化（メンタリング、事業資金、リソースの提供）
- (3) 運営体制の強化

3 令和5年度の運営体制

上記目標を達成するため、本協議会の正会員（8会員）及び特別会員（1会員）が人や施設、資金面など協力をしながら、総会、運営部会及び6つの事業を実施した。

(1) 総会の開催

会則の変更等、当該年度の活動、本協議会の運営に関する重要事項について議論

<構成員>

事業責任者…各会員を代表する者

<開催回数>

年2回

(2) 運営部会の開催

6つの事業の推進及び進捗確認、承認等

<構成員>

事業管理者…各会員組織の上層部と実務担当者を繋ぐために重要な役割を担っている管理職など

実務担当者…各会員組織の実務を担当する者

<開催回数>

事業管理者による運営部会・・・年4回

実務担当者による運営部会・・・週1回程度

(3) 6つの事業の推進

①Higashi Mikawa UPPERS 事業

②東三河8市町村実証実験サポート事業

③東三河地域共創事業

④大学連携事業

⑤東三河共創促進に向けた仕組化・可視化、情報発信・PR 事業

⑥スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）

<構成員>

実務担当者

<開催回数>

各事業とも週1回～隔週に1回程度

4 令和5年度の主な取り組み

(1) 総会及び運営部会の開催

①総会の開催

<第1回>

【開催日】令和5年6月22日

【会場】豊橋サイエンスコア

【内容】令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、入会等基準の改正など

<第2回>

【開催日】令和5年12月20日

【会場】emCAMPUS STUDIO

【内容】支援会員制度の導入、会費の方向性、
地域ファンドの検討など
株式会社リバネス代表取締役社長 COO
高橋 修一郎氏による講演会
「知識製造業の新時代」



②運営部会の開催

<事業管理者による運営部会>

【開催日】令和5年4月27日、6月8日、11月9日、12月7日（4回）

【内容】総会等資料の確定、各事業の進捗報告

<実務担当者による運営部会>

【開催日】令和5年4月6日～ 週1回程度（33回）

【内 容】 総会等資料の原案作成、各事業の進捗共有、後援、共催等申請の承認

(2) 事業の実施

① Higashi Mikawa UPPERS 事業【週1回～隔週に1回程度】

東三河地域において、起業・新規事業の創出に向けた機運醸成を図るため、仲間集めやアイデアの可視化などチャレンジの一步を踏み出す起業家と、その挑戦を後押しする応援者、地域課題を提供し共創する人たちが、4ヶ月サイクルの活動を通じ、地域・団体を超えて交流し、全員参加型で気軽に挑戦できる場づくりを行いました。

○事業メンバー 11名

○主な取組内容

<第4期>Higashi Mikawa UPPERS (令和5年4月～7月)

・プロジェクト数…15

・活動報告&交流会 Meet-UP

【開催日】 令和5年8月3日

【会 場】 emCAMPUS STUDIO 及びオンライン

【参加者】 64名人 (オンライン含む)

<第5期>Higashi Mikawa UPPERS (令和5年9月～12月)

・プロジェクト数…10

・活動報告&交流会 Meet-UP

【開催日】 令和6年1月25日

【会 場】 emCAMPUS STUDIO 及びオンライン

【参加者】 86人 (オンライン含む)

○KPIの達成状況

・プロジェクトの数【第4期】15件→(実績)15件

○成果

・アイデアづくりの段階から事業化に至ったプロジェクトが1つ生まれた。

・Startup Weekendや東三河 Innovator's Bus (CLUE) を経て参加する発起人のほか、「PRE-STATION Ai」入居者が参加するなど、他事業との連携が生まれた。

・地域内外から応援者が集まり、起業・新規事業の創出に向けた機運醸成を図ることができた。



② 東三河8市町村実証実験サポート事業【週1回～隔週に1回程度】

東三河内でスタートアップが実証実験等を実施するため、東三河の行政を中心にスタートアップがピッチする機会を提供し、そこから、実証実験等に向けて動き出すまでの支援に取り組んだ。また、東三河の市町村が実施または参画する実証実験等の事業について、本事業においても支援に取り組んだ。

○事業メンバー 10人

○主な取組内容

- ・スタートアップがピッチする機会の提供… 8回
- ・東三河の市町村等とスタートアップのマッチング支援を行った件数…19件

○KPIの達成状況

- ・東三河でスタートアップがヒアリングや実証実験を実施した市町村数及び件数

5市町村 10件 → (実績) 4市町村 21件

※豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市



○成果

- ・スタートアップがピッチをしてから東三河で実証実験等を実施するまでの仕組みを構築することができた。
- ・東三河の市町村がスタートアップとの共創に興味を持ち、本事業や愛知県のAICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM2023などに積極的に参加してくれるようになった。

③ 東三河地域共創事業【週1回～隔週に1回程度】

東三河の事業会社とスタートアップとの共創が自然と生まれるような環境づくりを目指し、東三河の事業会社向けの勉強会等を開催するとともに、地域の金融機関、会議所・商工会などと連携した取組を進めた。

○事業メンバー 9人

○主な取組内容

- ・勉強会の開催（3回）

【開催日】令和5年6月28日（会場：豊川信用金庫）

【テーマ】地域事業者がイノベーションに取り組むうえで抱える課題の可視化

【参加者】14人

【参加団体】豊橋信用金庫、豊川信用金庫、蒲郡信用金庫
豊橋商工会議所
豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、設楽町

【開催日】令和5年9月4日（会場：蒲郡商工会議所）

【テーマ】共創事例を知る、本地域に置き換えて考える

【参加者】19人

【参加団体】豊橋信用金庫、豊川信用金庫、蒲郡信用金庫、豊橋商工信用組合
豊橋商工会議所、豊川商工会議所、蒲郡商工会議所、新城商工会、
田原市商工会
豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、設楽町

- 【開催日】 令和5年12月1日（会場：CLUE）
【テーマ】 実際にスタートアップが求めていることを知る。スタートアップのサービスを知り地域企業との共創を具体的に考える
【参加者】 14人
【参加団体】 豊橋信用金庫、豊川信用金庫、蒲郡信用金庫、豊橋商工信用組合、蒲郡商工会議所、豊橋市、豊川市、新城市、東三河総局



- ・地元金融機関、会議所・商工会などと連携した取組（2回）

- 【主催者】 蒲郡商工会議所（本協議会共催事業）
【開催日】 令和6年1月22日（会場：蒲郡商工会議所）
【テーマ】 「がまごおり×スタートアップ MeetUp 交流会～DXの陣～」
【参加者】 52名（主に蒲郡商工会議所会員）

- 【主催者】 東三河ドローン・リバー構想推進協議会（本協議会共催事業）
【開催日】 令和6年3月7日（会場：豊川商工会議所）
【テーマ】 「地域企業×ドローン×スタートアップ」
【参加者】 87名（主に東三河ドローン・リバー構想推進協議会会員）

○KPIの達成状況

- ・東三河の金融機関との連携 4機関→（実績）4機関
- ・勉強会等に参加した事業会社数 50社→（実績）97社

○成果

- ・地域の金融機関、会議所・商工会がスタートアップとの共創について理解を深めることができた。
- ・スタートアップ・エコシステムの拡充に繋がった。

④ 大学連携事業【週1回程度】

大学等における研究シーズの社会実装、起業家育成を強化するため、(株)サイエンス・クリエイト及び株式会社リバナと連携して「超異分野学会豊橋フォーラム」を開催した。本イベントを契機に、事業化を目指したプロジェクトを組成し、その共同研究等に対する伴走支援を行った。

- 事業メンバー 8人（うち、会員外事業会社5名）

○主な取組内容

- ・超異分野学会豊橋フォーラム
【開催日】令和5年12月9日
【会場】豊橋サイエンスコア
【参加者】137人



○KPIの達成状況

- ・連携仮説（研究シーズを活用した事業案）の創出件数 30件→（実績）59件
- ・研究シーズを活用したサービスの社会実装 1件→（実績）0件
- ・研究シーズに関する事業会社へのヒアリング実施数 10件→（実績）18件
- ・フォローアップ件数（R4実施分） 5件→（実績）4件
- ・フォローアップ件数（R5実施分） 10件→（実績）11件
- ・プロジェクト伴走支援件数（R4実施分） 3件→（実績）3件

○成果

- ・社会実装に関心を持つ豊橋技術科学大学の研究者や新しい取り組みに積極的な地域の事業会社と、地域外の研究者・スタートアップ等を繋ぎ、新たな連携仮説を59件発掘することができた。
- ・地域の特徴や課題を的確に捉え、研究開発型スタートアップや研究者を集積するとともに、新産業の創出を促進するプロジェクトを創出するための仕組みを整備することができた。

⑤ 東三河共創促進に向けた仕組化・可視化、情報発信・PR事業【週1回程度】

東三河の各団体が相互理解を深め有機的に連携するとともに、共創促進を加速させるため、市町村、団体、事業会社、業界の枠を越えて連携できる仕組みづくりに取り組んだ。

また、必要な情報を分かりやすく可視化したコンテンツの発信や、各市町村や団体からではなく東三河全体としての情報発信、PRの強化に取り組んだ。

○事業メンバー 5人

○主な取組内容

- ・本協議会へ興味を示した会員候補に対して、紹介から参画までをサポートする仕組み（オープンプレイス）を構築
- ・各事業を持続的に運営していくため、事業の主担当（プロジェクトマネージャー）交代時の引継ぎの型を構築
- ・本協議会の会員が実施する事業や各事業活動の発信
- ・SNS（facebook、note、YouTube）を活用した情報発信
- ・やしの実FMによるラジオ配信 など



東三河起業家コミュニティ
© 公開グループ メンバー1,632人

○成果

- ・本協議会内における様々なルールを可視化し、適正な運用を図ることができた。
- ・スタートアップが必要としている情報を迅速かつ的確に発信することができた。

⑥ スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）【随時】

起業時における資金調達や、特許出願・商標登録などについて、専門家と気軽に個別相談できる場を提供しました。

○事業メンバー 企画・運営した各事業のメンバー

○主な取組内容

- ・小さな起業家相談室（日本政策金融公庫）

【開催日】 令和5年7月25日、9月19日、10月19日、11月28日

【会 場】 emCAMPUS STUDIO

【相談者】 計5名

- ・小さな知財相談室（日本弁理士会）

【開催日】 令和5年5月24日、7月10日、8月28日、

令和6年2月28日、3月22日

【会 場】 emCAMPUS STUDIO

【相談者】 計6名

○成果

- ・相談者が、スタートアップとしてどのような資金調達先があるのか、資金調達に向けてビジネスプランを書くためのポイントなど、スタートアップという視点で押さえておくべき知識を得ることができた。
- ・相談者が、デザイン等に関する特許取得の可否や手続きについて学ぶことができた。

(3) 本協議会会員が実施する事業との連携

emCAMPUS STUDIO、CLUE、StartupGarage などの支援機関や、豊橋市及び愛知県などの行政機関、その他会員が実施する事業と連携し、団体間を越え東三河が一体となった活動を展開した。

① スタートアップピッチイベント in 豊橋

【主 催】 日本政策金融公庫、STATION Ai 株式会社

【共 催】 東三河スタートアップ推進協議会

【開催日】 令和6年2月2日

【会 場】 emCAMPUS STUDIO

【参加者】 40名

【内 容】



○スタートアップ企業によるピッチ

- ・デジタルツール導入支援をAIにより実現する「キクメモ」「デジタル要件定義さん」を提供

NousLagus 株式会社 代表取締役社長 CEO 守屋恵美 氏

- ・中小加工企業向け見積支援システムである「匠フォース」を、多品種少量生産を行うメーカーに向けて提供

匠技研工業株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 前田将太 氏

- ・採用成功にコミットするエージェント連携システム「JoBins」を提供

株式会社 JoBins 取締役 CFO 片岡幸一 氏

- ・現場のDXを実現するプラットフォーム「カミナシ」を提供

株式会社カミナシ パートナービジネス 責任者 石川聡 氏

② 東三河スタートアップ・エコシステム共創カイギ

【主 催】 愛知県、東三河スタートアップ推進協議会

【開催日】 令和6年2月22日

【会 場】 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

【参加者】 136名

【内 容】

○プロジェクトピッチ「東三河地域のコミュニティ『Higashi Mikawa UPPERS』」

- ・水不要。洗い流さないメイク落とし洗顔料による新規市場開拓

株式会社 Cogane studio 代表取締役 植村元 氏

- ・ドローンソリューションによる価値の提供

J-Celeste 株式会社 取締役副社長 上村武司 氏

- ・東三河の未来を明るくしたい人

株式会社 トヨコン DX 推進課 高柳祐一郎 氏

- ・地域の食べ物と一緒にストーリーを届ける「そのとちブック」の開発

株式会社 picks design 代表取締役 松浦克彦 氏

○スペシャルセッション「スタートアップとのオープンイノベーションから見える地域企業の勝ち筋」

IX ホールディングス株式会社 執行役員 CIO 神山大輔 氏

株式会社スペース 代表取締役 村井美映 氏

豊橋市産業部地域イノベーション推進室 主任 澤田恭平 氏

○プロジェクトピッチ「スタートアップとの共創による地域に根ざしたビジネスの創出」

- ・お店と地域と人を結ぶデジタルサイネージ

株式会社スタジオフィルス 代表取締役 高橋健太郎 氏

豊川市産業環境部商工観光課産業振興係 主事 竹下雅大 氏

株式会社道の駅とよはし プロジェクトマネージャー 富永百衣子 氏

・東三河ソロトリプロジェクト

株式会社ホーン ソロトリクエストディレクター 三浦賢 氏

豊川市産業環境部商工観光課 主事 波田野将大 氏

蒲郡市産業振興部産業政策課 主事 吉見健児 氏

愛知県東三河総局企画調整部産業労働課 主事 横家大樹 氏

○会場一体型 パネルディスカッション「東三河が目指すべきスタートアップ・エコシステムとは」

株式会社サイエンス・クリエイト Startup Garage コミュニティマネージャー
勝間亮 氏

STATION Ai 株式会社 コミュニティマネージャー 片岡裕貴 氏

株式会社NEWSTA 代表取締役 CEO 鈴木碩子 氏

株式会社パワーウェーブ 取締役 種田憲人 氏



(4) 本協議会における主催・共催・後援事業

<主催事業>

- ・Higashi Mikawa UPPERS 事業 オフライン交流会、キックオフ、ミートアップ
- ・東三河地域共創事業 金融機関・支援機関によるスタートアップエコシステム勉強会
- ・大学連携事業 超異分野学会豊橋フォーラム 2023 (共同主催：株式会社サイエンス・クリエイト、株式会社リバネス)
- ・東三河スタートアップ・エコシステム共創カイギ (共同主催：愛知県)

<共催事業>

- ・早期起業家教育「TOYOSHIN STARTUP SCHOOL」 (主催：豊橋信用金庫)
- ・東三河アクセラレーションプログラム 2023 (主催：豊橋市)
- ・VC メンタリング DAY (主催：豊橋市)
- ・エンジェル投資勉強会&&ピッチ in 東三河 (主催：豊橋市)
- ・東三河オープンイノベーションミーティング#1、#2 (主催：豊橋市)
- ・東三河共創フェス (主催：豊橋市)
- ・豊橋市イノベーション相談会 supported by 共創コミュニティ (主催：豊橋市)

- ・がまごおり×スタートアップ MeetUp 交流会～DXの陣～（主催：蒲郡商工会議所）
- ・スタートアップピッチイベント in 豊橋（主催：日本政策金融公庫、STATION Ai 株式会社）

<後援事業>

- ・経産省アカツキによる新規事業創造プログラム（主催：武蔵精密工業株式会社）

(5) 視察の受入状況（計 15 件）

- ・行政 4 件 岡崎市、豊田市、磐田市、奈良県三宅町
- ・金融機関等 3 件 三井住友信託銀行、みずほ銀行豊橋支店、東京海上日動火災保険株式会社三河支店
- ・その他 8 件 愛知県雇用労働相談センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部、公益財団法人あいち産業振興機構、独立行政法人工業所有権情報・研修館、愛知県知的所有権センター、パーソルテンプスタッフ株式会社、アイチ士業ネットワーク、ウェルネスバレー推進協議会

(6) 令和 5 年度の運営経費について

本協議会に関する 1 年間の運営経費の実績は以下のとおりであった。

【施設利用】		【HP/PR 費】		【人工】	
内容	(単位：円) 金額	内容	(単位：円) 金額	内容	(単位：時間) 時間
総会	170,000	総会	0	総会	135
運営部会	0	運営部会	0	運営部会	368
8 市町村	0	8 市町村	30,000	8 市町村	80
UPPERS	328,800	UPPERS	60,000	UPPERS	536
大学連携	20,400	大学連携	0	大学連携	275
地域共創	0	地域共創	0	地域共創	130
情報可視化	45,600	情報可視化	20,780	情報可視化	465
イベント	39,600	イベント	0	イベント	135
その他	13,200	その他	600,000	その他	56
計	617,600	計	710,780	計	2,180

※昨年度の実績 1,064,000 円

※昨年度の実績 570,780 円

※昨年度の実績 2,602 時間

5 全体の成果

本年度は、豊川市・蒲郡市・新城市などの自治体や、東三河で事業会社と広く接点を持つ豊橋信用金庫・豊川信用金庫・蒲郡信用金庫・豊橋商工信用組合及び豊橋商工会議所・豊川商工会議所・蒲郡商工会議所・新城商工会・田原市商工会などを巻き込んだ事業を展開することで、地域でスタートアップ支援に関する理解が深まっている。本協議会の共催または後援事業という形で協力を受け、独自のスタートアップ支援に取り組む団体も出てきており、豊橋地域を中心として活動してきた3年前に比べ、少しずつではあるが、スタートアップ支援の芽が東三河全体に広がってくるなど、東三河におけるスタートアップ・エコシステムの拡充に繋がっている。

愛知県からは、本協議会の運営に関するサポートを受けるとともに、県事業である「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM2023」に参加した東三河の自治体等では、多くの実証実験が実施され、その事業化について検討が行われるなどの成果が得られている。

「PRE-STATION Ai」とは、入居企業等を紹介してもらうなどの連携に加え、本年度は初めて共催事業という形でピッチイベントを開催することができた。

また、これまでの本協議会活動に興味を持ち、協議会の会員としてスタートアップ支援については地域の活性化に繋げる活動をしたいという問い合わせがきている。運営体制の強化に向けて、既存会員含め、積極的に関わっていきけるよう進めていきたい。

6 今後の課題

東三河でスタートアップ支援に参画する団体が増えてきているが、新たな施策を次々に打ち出して実施していくことよりも、各団体が行っている既存の施策を活用して、あらゆるタイミングで様々な支援ができるよう、自治体、商工会議所等、支援機関、金融機関などがスタートアップに関する理解を深めたいうで進めていく必要がある。

また、東三河内でスタートアップを目指す起業家や企業内起業家と本協議会との接点は持っているものの、その起業家等の事業創出から事業成長に繋がる支援が十分にできていない。地域からスタートアップと言える起業家を生み出していくためには、事業成長するために必要な課題の可視化などに関するメンタリングや、資金調達の機会提供などを引き続き検討していくことが必要である。

加えて、スタートアップを目指す起業家等をもっと東三河内外で知ってもらうとともに、スタートアップ・エコシステムの認知度のさらなる向上を目指すため、東三河でもっとも事業成長したスタートアップや、今後事業成長の期待ができるスタートアップ、スタートアップと共創した事例などをPRする仕組みが必要である。

2024年10月には「STATION Ai」が開業予定であり、東三河においてもスタートアップ支援のさらなる機運醸成を図るとともに、引き続き愛知県や「PRE-STATION Ai」とも連携を強化しながら活動を進めていくことが重要である。